

# 本とあそぼう こどもみんと

Vol. 32

2003年 11月  
宇佐市民図書館  
〒879-0453  
宇佐市大字上田1017-1  
Tel. 0978-33-4600  
Fax. 0978-33-4679

ばけっこ

ひみつのきのはを いちまい  
あたまのうえに のせて  
ひみつのじゅもんを となえ  
でんぐりがえりすれば  
なりたいたいものになれると  
じいさまぎつねがいった

こぎつねしゅうじ

どんなきのはか ひみつ  
となえるじゅもんも ひみつ  
でんぐりかたも ひみつ  
「なりたいたいものになりたきゃ  
じぶんでみつけることじゃ」と  
じいさまぎつね しらんぷり  
ようし ほくもきつねだ  
じぶんでやってやるさと  
さがした さがした さがした



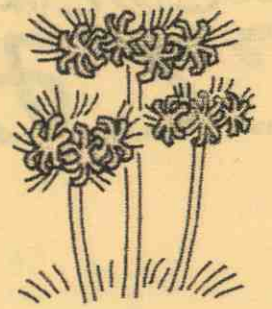
しらべた しらべた しらべた  
ためした ためした ためした  
じいさまぎつね みてなよ

あるよる ほくのはらで  
はっぱをあたまに じゅもん  
えいやつとんと でんぐり  
なりたいたいものになつた!  
なにになつたのかって?  
うふふ それは ひみつき

『のはらうた Ⅲ』より

工藤直子 作 童話屋 刊





『てぶくろをかいに』

新美南吉 文

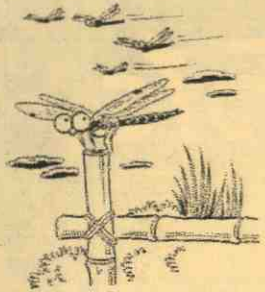
わかやまけん 絵 ポプラ社 刊

寒さむくなったので、ぼうやにてぶくろを買かおうとする母ははぎつね。でも、こわくて町まちには行いけません。そこでぼうやの片手かたてを人間にんげんの手てに……。子こぎつねはちゃんとてぶくろを買かえるでしょうか？

今年ことしは新美南吉にいみなんきち生誕せいたん90年ねん没後ぼつご60年ねん。これは20歳さいの時ときの作品さくひんです。



文・新美南吉  
絵・わかやまけん



【心に残るきつねの本】

『子こぎつねへレンガのこしたもの』  
竹田津実たけたづみ 作 偕成社 刊

重じゆうど度の障しょうがい害がいをもった子ギツネが病院びやういんにやっつて来きました。ミルリやお肉にくをあけても、少すこしもうれしそうではありません。生きるとはへレンにとつて苦くるしいだけのこと？ 考かんがえながらも竹田津先生たけたづせんせいと奥おくさんはへレンを育そだてていきます。

かわいい写真しゃしんもいっぱいです。



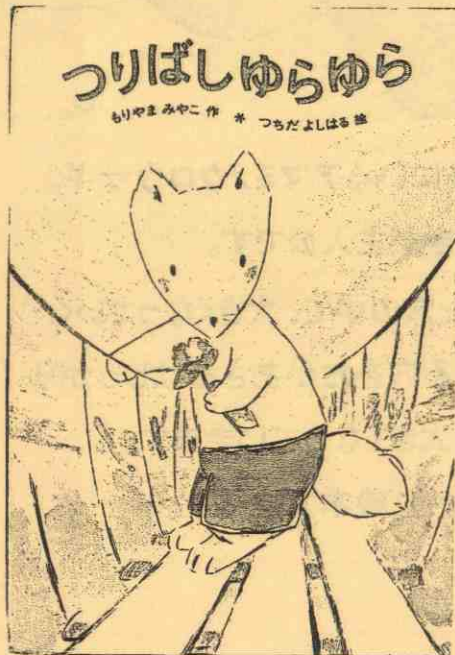
竹田津実



『つりばしゆらゆら』

もりやまみやこ 作  
つちだよしはる 絵  
あかね書房 刊

高たかくて、ゆれるつりばし。そのむこうにきつねの女おんなの子こがいてときました。つりばしをわたるれんしゅうをはじめました。人にん気きがあるシリーズです。



きつねがでてくるお話はなしはたくさんあります。展示架てんじかを見てみてね。



どくだんとへんけんによっているかもしれない

# 今月の一冊



『とんとんとんのこもりうた』

いもとようこ 作

講談社 刊

奄美大島と徳之島にいるアマミノクロウサギ。

この本は、そのうさぎが主人公です。

おかあさんの作った穴の中で、大きくなっていく  
子うさぎ。こどものいる穴をおかあさんはしっかりと  
ふさぎ、子うさぎは大きくなっていきます。

ちぎり絵があたたかい絵本です。